

青山学院大学 研究データポリシー

(趣旨)

青山学院大学（以下、「本学」）は「青山学院大学の理念」において、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を行うこと、また、本学のすべての教員、職員、学生は、相互の人格を尊重し、建学の精神に基づき、おのおのの立場において、時代の要請に応える大学の創出に努めることを定めている。

そこで、研究データの適切な管理、公開等により、その利活用を促進することで、幅広い学問研究の更なる発展に資すること、並びに時代の要請に沿った公正な研究活動を担保することを目的として、本学における研究データの管理並びに公開・利活用の為に、以下のポリシーを定める。

(研究データの範囲)

1. 本ポリシーにおける研究データとは、本学における研究活動の過程で収集又は生成される情報を指し、デジタルか非デジタルかを問わない。

(研究データの管理・公開)

2. 研究活動の進捗に伴って収集・生成されたデータは、当該の研究者が責任をもって管理するが、法令および本学の規定その他これに準ずるものの範囲内並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において、当該の研究者が管理・公開・利活用の方法を定めることができる。

(研究者の責務)

3. 本学の研究者は、前項に掲げる範囲内において、学術データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供するよう努める。

(大学の責務)

4. 本学は研究データの管理並びに公開・利活用のための環境整備を推進する。

(その他)

5. 本ポリシーで定める研究データの管理並びに公開・利活用に関する詳細や具体的なルール・手順等は必要に応じて、各学部・研究科等で定めることができる。また、社会や学術研究を取り巻く状況の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。

以上